

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 15日

事業所名 こどもプラス豊見城教室4号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	4	0		
	2	職員の配置数は適切である	1	2	3		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	3		バリアフリーが必要な個所は対応していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0	朝礼や終礼の際に職員間で共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	0		ミーティングの際に共有し、業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ホームページで公開している。	毎年行っており、結果をホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	0	定期的に本部から巡回指導あり。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	毎月2回、動画研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	定期的に支援者会議を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	イベントや外出などの計画を職員で考案している。	子ども達からも意見をもらうようにし、可能なら実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3	0	必要に応じて作業療法士による個別訓練を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	朝礼にて打ち合わせを行っている。できない日もあるので必ずできるようにしたい。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	5	0	送迎やシフトによってできない日もある為、翌朝の朝礼で共有している。	その日で共有が出来なかった際には、ラインで共有できるようにしたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1	5	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4	2	0		会議の内容を職員で共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	5	1	0		必要に応じて情報交換を行っている。保育所等訪問を 行い、学校と情報共有を行っている。送迎時間の変動 がある時などに、送迎表を把握することや、学校の ホームページの情報を見ながらミスの無いよう心がけ ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	6	0	該当者なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	3	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2	4	0	該当者なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	0	6	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	2	コロナ禍の為実施で きていない。	コロナ禍の為実施できていないが、落ち着き次第実施 予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	1	2	かざぐるま交流会に、 担当者が参加してい る。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	1	0	送迎時に、日々の様 子を伝えている。 ラインやブログにて様 子を伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	2	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4	1	1	相談があった時には 対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	2	3	コロナ禍の為実施で きていない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	1	0	意見ボックスを玄関 に設置している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	0	0	月に一回お便りを発 行している。	
	35	個人情報に十分注意している	5	1	0		お便り作成の際に、顔出しや名前出しを気を付ける。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	ジェスチャーや筆談 などで、コミュニケー ションをとっている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	0	4	2	夏祭りなどを企画し ているが、コロナ禍の 為、行えていない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	0	年に2回、避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	定期的に研修を受けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	0	該当者なし。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0		ヒヤリハット集を作成し、職員で共有している。